

都市再生整備計画 事後評価シート
新加納二期地区

令和3年2月

岐阜県各務原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	各務原市	地区名	新加納二期地区		面積	81.7				
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	279	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園(新加納陣屋公園整備)、高質空間形成施設(カラー舗装)(市道那691号線、市道那429号線、市道那422号線)									
			提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
				高質空間形成施設(カラー舗装)(浜見「歴史と緑の散策路」)			地元より市民緑地の廃止を依頼されているため、市民緑地の周辺整備事業である本事業を削除する。削除についてはワークショップ等で地元住民に説明済み。			事業の削除により、指標への影響は生じない。			
				高質空間形成施設(カラー舗装)(市道那742号線外)			関連事業である一般県道岐阜那加線は歩道が整備される予定であり、工事完了後は通学路の経路が変更される可能性があるため、本事業を削除する。削除についてはワークショップ等で地元住民に説明済み。			事業の削除により、「指標3 歩行者の安全性」に影響するため、目標値を96%から89%へ下方修正。			
			高次都市施設(地域交流センター)			地元より別候補地を検討中であるとの伝えられたが、まだ具体化されていないため事業から削除する。削除についてはワークショップ等で地元住民に説明済み。			事業が削除されたため、当初計画における「指標2 地域交流施設の利用者数」の指標を削除。				
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(広場)(浜見広場)									
			提案事業	-									
	交付期間の変更		当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
			変更	なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	住民参加型まちづくり活動の活性度	回/年間	10	H26	15	R1	-	19	○	あり なし	公園等の整備により、地域コミュニティのきずなを深めるための基盤となる公園が形成されたことと、まちづくり会の継続的な活動が確認された。	-
	指標2	地区内回遊者数	人	3	H26	20	R1	-	21	○	あり なし	公園及び道路のカラー舗装が整備されたことにより、歩行者ネットワークが形成され、地区の歩行環境が向上した結果、地区内回遊者数の評価値は目標値を上回った。	-
	指標3	歩行者の安全性	%	63	H26	89	R1	-	89	○	あり なし	カラー舗装の整備、新加納土地区画整理事業により、地区内の歩行者が快適に歩くことができる道路が整備され、歩行空間の安全性が高まった結果、歩行者の安全性の評価値は目標値を上回った。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	「中山道新加納立場地区」の風景形成基準に沿って建築・改築された建物の数	戸	11	H27				22			「中山道新加納立場地区」の風景形成基準に沿って建築・改築された建物数は増加しており、まち全体の景観の保全・形成がすすめられている。	-
	その他の数値指標2	新加納二期地区の人口	人	4,558	H27				4,737			本事業の他、新加納土地区画整理事業による地区内の人口、世帯の増加も地区内の歴史施設をめぐる回遊者数の増加の一つの要因となったことが予想され、今後さらに増加していくが見込まれる。	-
	その他の数値指標3	新加納二期地区の世帯数	世帯	1,769	H27				1,909				-
	その他の数値指標4	名鉄新加納駅利用者数	人	1,316	H27				1,497			名鉄新加納駅利用者数の増加が、地区内の歴史施設をめぐる回遊者数の増加の一つの要因となったことが予想される。	-
	その他の数値指標5	地区内の交通事故件数	件	10	H27				5			カラー舗装整備や新加納土地区画整理事業により歩行空間の安全性が高まり、地区内で発生した事故件数も半減した。	-
4) 定性的な効果発現状況	<p>新加納まちづくり会は毎月の定例会や、各種イベント、他市との交流、かわら版発行等の他、陣屋公園の維持管理を担うなど、積極的な活動が継続して実施されている。</p> <p>陣屋公園の活用について、新加納まちづくり会は、シニアクラブ、子ども関連団体等の他の団体とも協力したいとの意向があり、活なまちづくりが進められる機運が更に高まっている。</p> <p>令和元年度実施の街頭アンケートでは、「道が綺麗になった」「このまま町が繁栄してほしい」等の声もあり、地域住民の整備に対する一定の評価がうかがえる。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	○新加納まちづくり会によるイベントの実施 ・歴史的つながりのある市町村との交流(野々市市他) ・子ども、シニア交流イベントの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ 今後も継続して住民参加型のまちづくり活動やイベントを実施していく。				
持続的なまちづくり体制の構築	○旧中山道を軸とした歴史資源のネットワーク化 ・中山道の宿場町の見学会 ○地域のまちづくり団体を活かした継続的まちづくり活動 ・新加納まちづくり会の定例会、総会等の定期活動 ・かわら版の定期的な出版			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ まちづくり会、シニアクラブ、子ども関連団体等の団体が一体となった陣屋公園を活用したまちづくり活動の推進と、新たな組織体制の整備を推進する。					

様式2-2 地区の概要

新加納二期地区(岐阜県各務原市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:『未来に遺す歴史の風景と安心・安全のコミュニティ形成』		住民参加型まちづくり活動の活性度	単位:回/年間	10	H26	15	R1	19	R1
目標1:街道の歴史的風情を活かした、魅力あふれるまちづくり		地区内回遊者数	単位:人	3	H26	20	R1	21	R1
目標2:新旧の住民が交流し、コミュニティを育むまちづくり		歩行者の安全性	単位:%	63	H26	89	R1	89	R1
目標3:安全で安心に暮らすためのまちづくり									
<p>■基幹事業 地域生活基盤施設(公園) 浜見広場 A=178㎡</p> 		 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基幹事業 ■ 提案事業 ○ 関連事業 <p>○関連事業 新加納土地区画整理事業 A=3.0ha</p> <p>○関連事業(一)岐阜那加線 整備事業</p> <p>□提案事業 事業活用調査 事業効果分析調査</p>				<p>■基幹事業 高質空間形成施設(カラー舗装) 市道那422号線整備 L=550m</p> 			
<p>■基幹事業 公園 新加納陣屋公園整備 A=1,476㎡</p> 						<p>■基幹事業 高質空間形成施設(カラー舗装) 市道那691号線 L=440m</p> 			
						<p>■基幹事業 高質空間形成施設(カラー舗装) 市道那429号線 L=76m</p> 			
<p>まちの課題の変化</p> <p>○達成されたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体の継続的な活動と、道路のカラー舗装、陣屋公園の整備によりまち全体の景観の保全・形成が促進された。 ・景観に配慮して建築・改築した建物は増加しており、まち並みの保全・再生が進められた。 ・陣屋公園、浜見広場及び道路のカラー整備により、地区内の施設や景観資源等を結ぶ歩行者ネットワークが形成された。 ・陣屋公園、浜見広場等の地域コミュニティのきずなを深めるための基盤となる公園が整備された。 ・陣屋公園について、新加納まちづくり会による維持管理体制が構築された。 ・避難場所に避難する前に、住民が一時的に集合できる場所ができ、道路整備とともに、まちの安全性が高まった。 ・カラー舗装の整備により、地区住民や通学路を使う小学生、又は大規模商業施設利用者等の歩行者の安全性を高める道路整備が進められた。 ・積極的なまちづくりが推進されたことにより、新加納防犯パトロール隊が結成され、地区内の安全性が高められた。 <p>●新たな課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新加納土地区画整理事業の実施による新たな住民を含む地区住民全体に、地区の歴史や特徴を知ってもらい、景観の保全を推進していくことが求められる。 ・中山道の宿場町や他地区、自治体などの歴史的な連携・交流・情報共有・共同企画事業などの展開により、更なる歩行者ネットワークの充実を図ることが求められる。 ・新加納まちづくり会、シニアクラブ、子ども関連団体等が一体となり陣屋公園を活用していくため、継続的なまちづくり活動の推進と、新たな組織体制の整備が求められる。 ・地区住民に親しまれる日吉神社の「かえる」等を地区のアピールポイントとして活用し、特色あるまちづくりを推進していくことが求められる。 ・防災訓練等による更なる安全対策が求められる。 ・自動車の走行速度の抑制や交通マナーの啓発等について対策・検討を進めることで、安心・安全な歩行空間の確保が求められる。 									
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色や景観資源を活かしたまちづくりを促進する。 ・地域コミュニティや、歴史的なつながりによる交流を促進し、まちの活性化を図る。 ・地区住民や地区内回遊者等の歩行者の更なる安全性の向上を図る。 							